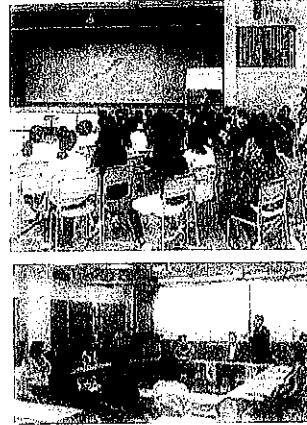


杉並区立富士見丘中学校

道徳授業地区公開講座

「いのちを考える」 道徳担当 川崎亮輔 主任教諭

5月18日「いのちの授業～がんを通して」講演会を行いました。ロハスメディカル川口様に司会進行をしていただき、前半は医師の久住先生にがんについての話をさせていただきました。がん発生のメカニズムを学び、2人に一人ががんにかかるという事実に衝撃を受けました。後半はイタリアからの中継で、元患者の阿南様に実体験を話していただきました。辛い闘病生活を送ったこと、その経験を経てたくさんの方の事を学び、今は充実した日々を送れていることなど、リアルな話にみんな真剣に耳を傾けていました。生徒は講演会以外に事前事後学習にも真剣に取り組み、改めていのちについて考えるよい機会となりました。御参観いただいた保護者の皆様ありがとうございました。



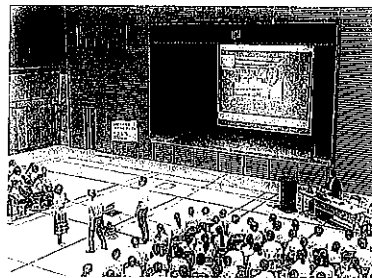
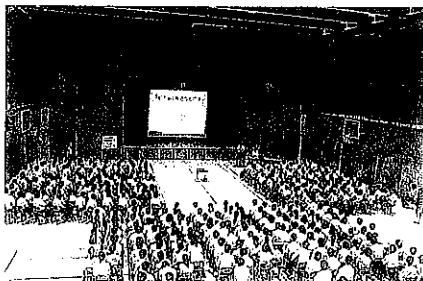
中野区立中野中学校

「いのちの授業～がんを通して～」を実施

6月8日(土)、「いのち」の尊さや生きることの意義を考えて生活することを目的に、「いのちの授業～がんを通して～」として、1時間目は各クラスの教室で道徳授業を、2・3時間目は体育館で講演会を実施しました。

体育館での講演会では全校生が変形「コの字型」になり、主催者から授業の趣旨と久住ドクターからの「がん」についての説明を聞き、その後、元がん患者の阿南さんからのお話を聞きました。阿南さんは、留学先のイタリアからインターネット中継で出演してくださいましたが、生徒は阿南さんのお話真剣に話に聞き入っていました。

最後の質問タイムでは、久住ドクター及び阿南さんが一人ひとりの質問に対して丁寧に答えをいただきました。



スクリーンには阿南さん

～生徒代表お礼のことはば～

本日はお忙しい中、また、普段なら休まれている夜の時間帯(注)に、とてもためになるお話をありがとうございました。

私の祖父はがんで亡くなり、祖母も乳がんにかかっていたことがあります。私にとって「がん」は聞き慣れた病名ですが、今日、「がん」について詳しく知ることができ、とても良かったと思いました。

お話の中で特に心に残ったことは阿南さんが、ご友人から「絶対に治るから！」と言われて腹が立っていると仰っていた部分です。本人の気持ちは本人には分からないという当たり前のことに改めて気づかされました。もし、身近な人が「がん」になってしまったとき、その人の「いのち」や生き方を尊重して声かけを行わなければならないと思いました。

今日のお話から、健康で生活できる自分がどれ程恵まれているのか実感しました。同時に、自分や他のたくさんの尊い命を守っていくためにすべきことは何なのか考えるきっかけになりました。これからは、1秒1秒を無駄にせず、常に全力を尽くしていきたいと思えます。

(生徒代表 3年A組石井 百夏)

(注) イタリアと日本の時差は7時間、日本時間の午前10時は、イタリアの午前3時になります。